

昼下がりの演奏会 #5

こんかい えんそう
今回、演奏するのは…… フルート と ピアノ。

① ヴィヴァルディ「四季」より「春」

この曲でえがかれているのは、日本の春ではなくイタリアという国の春。
音楽を聴きながら、日本の春っぽいところ、そうじゃないところなど、いろいろ探してみよう！

② フォーレ「シシリエンヌ」

音楽には、よく楽しげな響きといわれる長調だったり、悲しげな響きといわれる短調があるけれども、この曲は長調と短調の響きを行ったり来たりする。どんな気持ちの音楽に聴こえるかな？

③ モリコーネ「愛のテーマ」

昔の映画のクライマックスシーンのための音楽。映画音楽は、演奏を聴いて楽しむためだけのものとはちがって、映像と一つになって作品になる。けれども中には、音楽だけを聴いても心が動かされるようなものもある。この曲を聴いて、どんなシーンを想像するだろうか？

④ ボニス「傷ついた大聖堂」

大聖堂というのは、いってみれば大きな教会のこと。激しい戦争の中で、攻撃を受けてしまった大聖堂を目の当たりにして作られた曲。どんな気持ちがかめられているのかな？

⑤ ドビュッシー「シランクス」

「シランクス」というのはギリシア神話に出てくる美しい妖精。最後には美しい響きの笛になってしまったという。さて、この曲を聴いて、どんな妖精が思い浮かびますか？

⑥ リムスキー＝コルサコフ「熊蜂の飛行」

飛び回るハチの様子が見えてきそうな音楽。演奏する人は大変！
みんなにもハチが見えてくるかな？

⑦ ラヴェル「亡き王女のためのパヴァーヌ」

ラヴェルは、自分が生きる時代から3～400年ほど前の時代の王女さまの踊りをイメージしてこの曲を作った。大昔のお城って一体どんな様子だったのだろうか？ 想像しながら聴いてみよう！

楽器の音や曲をきいて感じたことば、音楽を聴いておもいうかんだ絵など、自由にかこう！

きょうはありがとう！ かけたら、さいごにぜひ、みせにきてください！